

“ささえあいを考える”をテーマに組合員活動交流集会開催

2月20日（火）、2023年度組合員活動交流集会がオルガホール（岡山市北区）とYoutubeにて各生協サテライト会場、個人への配信で開催され、会場参加31名とオンライン参加約60名が参加しました。テーマを「ささえあいを考える」として、「あらためて学ぶ『社会保障とは？』と題した学習講演と2つの生協からささえあいに関する実践の報告がありました。



島根大学教授宮本恭子氏による学習講演では、最も身近なはずなのにそのしくみや全体像がよくわからない、という声にこたえて、社会保障を全般的に解説いただきました。その歴史は産業革命以降の社会構造の変化、市場経済の限界に対応するものとして生まれ、日本では戦後日本国憲法の下「生活の最低限度の保障」から成熟社会になるにつれ「幸福追求権」を根拠に「広く安定した生活を保障するもの」に変わっていき、失敗しても再挑戦できる

セーフティーネットとして機能してきていることなどを学びました。経済との関係では、国家財政を超える規模感や財源の構造、少子高齢化、雇用構造など社会が変化する中で転換点にあること、その方向性としては、社会保障による消費やサービス提供がもたらす経済への貢献に着目すべきこと、に触られました。経済と社会保障を効果的に循環させられるような全世代型の保障と地域の支えあいなどで超高齢化社会に備え、持続可能なしくみを追求していく必要性について提起されました。

生協の取り組み報告では、倉敷医療生協水島総合病院で、相談を受け付けるところから、無料低額診療へつなげ、それが継続できるようにしていく工夫、より広めていくための取り組みなどが報告されました。



発表する八谷尋子さん

こくみん共済coop岡山推進本部からは、阪神・淡路大震災を契機に生協や労働団体などが中心に運動をすすめて制定された「被災者生活再建支援法」の経緯、その中で「防災・減災」の啓発を社会貢献として位置付けてきて、岡山県内でもその取り組みをひろげてきている実践の報告がありました。



発表する吉野賢二郎さん

★見逃し配信（2024年4月末まで）

https://youtube.com/live/JAHKs1j_57E?feature=share

